

2017 TOYOTA SLカートミーティング SUGOカートレースシリーズ第2戦 特別規則書

大会公示

本大会は「FIA国際モータースポーツ競技規則」と「国際カート規則」ならびにそれに準拠した「2017年JAF国内カート競技規則集」とその付則、ならびに2017年SLメンバーズブック記載の「2017年SLカートミーティング規則書」ならびに「2017年SLカートミーティング車両規定」と本規則書に従って開催されます。

第1章 大会開催に関する事項

第1条 開催日 2017年 5月7日(日)
開催場所 〒989-1301 宮城県柴田郡村田町菅生6-1 SUGO西コース
TEL 0224-83-3116 FAX 0224-83-5545
オーガナイザー 菅生スポーツクラブ(SSC)、(株)菅生

第2条 大会組織委員会ならびに審査委員会

大会会長	多田 栄治	大会審査委員長	斎藤 實
大会組織委員長	高橋 吉男	大会審査委員	鎌田 新
大会副組織委員長	村林 匡	大会審査委員	横山 利明
大会組織委員	白鳥 良		

第3条 競技役員

競技長	及川 光由	技術委員長	熊谷 富士雄	救急委員長	白鳥 良
副競技長	菊地 幸司	副技術委員長	古頭 章	事務局長	八島 仁
管制長	谷津 吉広	コース委員長	西條 元彦		
計時委員長	早坂 直行	進行委員長	八島 隆徳		

第4条 大会事務局所在地ならびに申込み先

大会事務局 第1章第1条 開催場所内
申し込み期間 2017年 4月7日(木)～4月30日(日)
申し込み先 大会事務局
申込み方法 ①Webエントリー
必要事項を漏れなく記入し登録して下さい。
②持ち込み
所定の参加申込書に必要事項を漏れなく記入し、参加料を添えて大会事務局へ申し込むこと。
③現金書留
所定の参加申込書に必要事項を漏れなく記入し、参加料を同封して、大会事務局へ現金書留にて郵送すること。
※参加誓約書(参加申込書裏面)に必ず**署名・捺印**をすること。**捺印は認められません。**
18歳未満の方は、親権者の署名・捺印が必要となります。

第2章 競技参加に関する事項

第1条 開催クラスについて

シリーズ特別規則書「資料1」『2017 SLカートミーティング SUGOカートレースシリーズ クラス区分』の通りとする。

第2条 周回コース及び周回数

コース長 984m
出走台数 34台(決勝進出台数)

クラス	公式練習	タイムトライアル	予選ヒート	決勝ヒート
リブレ(X30、MAX)	7分間	7分間	12周	18周
リブレ(PRD Avanti)				16周
FP3(スハ ⁺ -SS、SS、TIA、FDオープン)			10周	14周
FP3(TIAジュニア)				10周
FPJカデット(カデットオープン、TRYカデット)			8周	10周

第3条 競技に関する事項

1. 公式練習

公式練習には全てのドライバーが出走しなければならない。

2. タイムトライアル

予選ヒートグリッドポジション決定の為、**7分間**のタイムトライアルを行なう。

但し、参加台数、天候などの事由により変更する場合がある。

3. 予選ヒートならびに決勝ヒートのスタートは2017年「SLカートミーティング規則書」第4章7

に基づきローリングスタートとし、次の事項が適用される。

- ①スタートの合図は灯火信号によって行われる。
- ②スタートが合図される前に、約1周のフォーメーションラップを行う。フォーメーションラップ中のドライバーは、2列隊列で低速走行し、スタートラインへ向かう。
ドライバーはスタートライン25m手前にあるイエローラインを超えるまで加速してはならない。
- ③カートがスタートラインに接近する段階で赤信号が点灯し、スタート前の最終的な隊列を形成させるために、スタートライン手前にパイロンを設置する。当該パイロンに故意に接触等をしたドライバーに対しては、ペナルティが課せられることがある。
- ④スターターは、フォーメーションが整いイエローライン前に加速をしてないと判断した場合に、赤信号を消灯してスタート合図を行い、配置されていたパイロンはコース委員によって撤去される。フォーメーションとイエローライン前での加速に問題がある場合、スターターはフォーメーションラップが更に1周行われることを合図するために赤信号の灯火を続ける。
(消灯しない)
- ⑤フォーメーション開始時、フロントローのドライバーは後続のドライバーが追いつけないようなスピードで走行しないよう注意する。フォーメーションラップ中の追い越し、隊列復帰禁止区間は、**レッドライン(7コーナーと8コーナーの間)**までとしこれに違反したものはペナルティを課せられる。

4. 決勝ヒートのローリング前のウェイトンググリッドはダミーグリッドよりおこないます。

5. エントリー台数不足により混走する場合がある。

6. 吸気系または排のトラブルについて

走行中に吸気系または排気系のトラブルが発生した場合、直ちに安全な場所に停止しなければならない。
競技を続行することは一切認められない。これに違反した場合はペナルティの対象となる。

第4条 競技車両に関する事項

1. タイヤについて

シリーズ特別規則「資料2」『2017 SLカートミーティング SUGOカートレースシリーズ クラス区分』の通りとする。
タイヤへの加工は一切禁ずる。(タイヤメーカー市販状態で使用すること)
タイヤに加工疑惑がある場合は、主催者で預かり検査を行なう場合がある。
(非合法な部分がありながら、技術委員に見えなかったとしても承認を意味するものではなく、レース中にそれに関する疑義が生じた場合は、黒旗指示を受ける場合がある)
再車検で違反が発見された場合は失格となる。

2. スキッシュエア計測について

車検長が両側計測にて検査を行う際は、エンタラント、ドライバー、登録ピットクルーが責任をもって車両の分解および組立てを行わなければならない。
ヘッドシリンダーを装着する場合、規定トルクトルク【1.8~2.3kg・m】で装着して計測します。

3. エンジンの登録について

MAXクラスのエンジン登録は2基まで登録することができます。

4. その他

「X30」は、(株)コジマブレーンファクトリーが発行する「2017 X30 Challenge 車両規定」に準ずる。
「MAX」は、(株)栄光が発行する「ROTAX MAX Challenge Technical Regulations 2017」に準ずる。
「PRD AVANTI」は、(株)ナガハラサービス(CRG JAPAN)が発行する「2017 PRD AVANTI 車両規定」に準ずる。

SUGO FDオープン シャシー規定

※ホイールサイズ規定はなくなり、タイヤを付けた最大幅といたします。

フロントタイヤ : 135mm以下

リヤタイヤ : 215mm以下

第5条 バドック使用に関する事項

1. バドック内は競技車両以外の留置きを禁止する。その他車両は全て第2バドックへの駐車とする。

周遊道路への路上駐車は禁止とする。

- ①荷物の搬入は8:30までに行なうものとする。搬出については全競技終了以降とする。
- ②大会前日も上記内容を推奨するものとする。
- ③チームオーナーについては車両1台をバドック内に駐車することを許可するものとする。

2. バドック内のバイク、自転車、キックボード等での移動を禁止する。

3. バドック内は喫煙所を除いて禁煙とする。

4. 使用済みタイヤ、中古タイヤ、またはフレーム等の粗大ゴミは必ず持ち帰るものとする。

バドック内、ゴミ捨て場への廃棄を禁止する。

注:その他詳細については必ず「2017年SLメンバーズブック」ならびに「2017年JAF国内カート競技規則集」にて確認してください。